

◇ 令和2年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっこ「笠縫」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	25,877,274円	/	27,308,276円	各科目において多少予算との差異はあったが全体的に予定通りの金額に収まっている。当初予定していた行事がいくつかなくなってしまったが、その分コロナでもできる行事に注力し利用者還元する事ができた。(差額については、おやつ代等に対応)	利用者さんから笠縫の行事や支援員間雰囲気が高く評価されている事や、その事が入所前の段階から入所の決め手とされる事も聞いているので、ニーズに応えられるよう維持・向上を目指していく
施設HPアドレス	https://minnanoie.roukyou.gr.jp		2年目					
指定管理者名	労協センター事業団		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成14年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) コロナ禍において制限される事は多くなるが、感染拡大の防止に努め、その中でも利用者さんに安心と楽しさを提供できるように物事を進めていく。そして例年通り保護者アンケートの実施を行い、課題とニーズを掴み運営をしていく。 支援員の質の向上を目指し、日々の研修や支援員会議等でそれぞれが見聞きした事を伝えあい学びの場とし、保育の現場に還元していく。		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) 概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・保護者との連携、児童への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされています。 特に、報告が必要な怪我がなく、安全に運営出来たことは、大いに評価できる。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) 今年度は企画していた行事のほとんどができなくなり、上半期は出席日数も乏しい事から、かなり遅れをとってしまった。今までにない事に遭遇し、利用者さんも混乱する中で支援員達の協力の元、被害を最小限に食い止められたと感じる。なくなってしまった行事の代わりに、残った行事に力を入れて子ども達や保護者さんからの満足を得る事ができた。退会される利用者さんもいたが、どれも前向きな理由で退会されていたので保護者さんとの関係も良好であったと感じた 事故についても大きな事はなく、安全に保育に取り組めた。研修については、自宅研修や市開催の研修を受けた。人数制限がされる中での参加となり、常勤が参加した。研修の機会は都度あったのだが、保育時間と被ってしまう研修があった為、人員体制が揃わず、止む無く不参加という事もあったが、次年度はしっかり研修も受けたいと感じる。		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は市内複数の児童育成クラブにおける指定管理者としての実績や、過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、令和2年度においても、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たした。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	上半期は緊急事態宣言を受け、子どもの登所が極端に少なくなった。(4月・5月・7月・8月)その為職員配置は必要最低限の配置となり、その間出勤できなかった支援員に対しては研修を行う事で質の向上を図った	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。また、定員を超える弾力運用での受け入れも行き、児童福祉の推進に協力いただけた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	下半期は虐待の研修を受けたが、人数制限があり常勤のみの研修であった。入所状況は家庭環境の変化(妊娠・出産や留守番ができるようになったなど)で退会する子が数名。開設は例年と変わらない日数でできた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。制限があったものの、研修を受講することで、支援員の資質向上に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	緊急事態宣言時の保育は必要最低限の内容(ルールや過ごし方等)を行ったが、遠足や夏祭りといった例年の行事が全くできなかった。その中でも子ども達が楽しめる行事を対策しながら行えた事が保護者さんからの評価を聞く限りではとても好評だったと感じる	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、保護者の理解を得ながら工夫され時季に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。保護者の意見も汲み取りながら事業を実施されている。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	上半期と同様、制限がある中での保育は継続していたができる限り季節の行事や演劇など楽しめるよう取り組んだ。個人情報の取り扱いには年間を通して厳重に保管し、利用者の情報を共有する際は個人情報の話を踏まえ伝達を行ってきた。	下半期評価	時季に合ったイベントを実施された。保護者とも連携を取り、意見を取り入れている。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。保護者の意見も汲み取りながら事業を実施されている。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	上半期はコロナの影響で入所説明会から日々の連絡まで対面で話すことがなかったのでおたよりや連絡事項は郵送で行った。8月も含めると約3か月遅れの保育となり、子ども達の成長も見ながらにスローペースであったが、各々のペースに合わせて、支援員会議の充実も図る事で、以前のようにはいかなくとも生活リズム・交友関係の構築などができた。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられている。支援員間のミーティングにより情報共有・資質向上を図られた。イレギュラー等発生すれば、送迎時に保護者に報告されている。おたよりもや掲示板を活用し、保育内容の更なる周知に努められたい。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	上半期で土台作り専念する事で子ども達の生活基盤が出来上がってきた。善悪の区別や心の行事等を考え、同時にリーダーの育成にも務めた。対面で話すことができるようになったので、日々の様子を伝え、直接おたよりを渡したり、アンケートをとり反映させるなど信頼関係を作れるよう円滑に取り組むことができた。	下半期評価	実施した保護者アンケートの内容を支援員間で共有、協議されている。また、保護者への対応もきちんとされており、相談しやすい雰囲気作りにも努められている。おたよりもや掲示板を活用し、保育内容の更なる周知に努められたい。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	ファシリティーマネジメントを行い、施設の要点検項目を報告した。いくつか破損が見られたり、微細な傷もあったが、そこについては被害が発生しないであろうという見解から様子見の状態である。しかし直さないといけないが莫大な費用がかかる為、保留の状態になっているものもある。細かい修繕は修繕費や指定管理料の範囲内で適正に行われている。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて、毎月バリエーションを変えながら避難訓練を実施された。破損箇所等ある場合は都度報告いただき、修繕対応いただいている。日々清掃活動もされている。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	量の経年劣化などが目立ってきた為、修繕した。日常の安全点検も上半期同様行い、特に施設内での不備はなかった。しかし、施設外では施設を囲む大きなネットの破損が見られ応急処置を施すことになった。(市に破損は報告済)	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて、毎月バリエーションを変えながら避難訓練を実施された。破損箇所等ある場合は都度報告いただき、修繕対応いただいている。日々清掃活動もされている。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	